

# 第3回徳島市国土強靱化地域計画策定市民会議 議事録

開催日時：令和2年2月10日（月）13時30分～14時20分

開催場所：徳島市役所6階 工事入札室

出席者：委員14人

上山委員、大宮委員、樫山委員（代理山下氏）、佐々木委員、佐野委員、田口委員、堤委員、内藤委員、中川委員、中野委員、板東委員、坂東委員、平松委員（代理秋本氏）、宮藤委員  
事務局（土木部長、危機管理局長、土木部副部長、危機管理局次長、土木政策課）

傍聴人：1人

## 【会議の内容】

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 徳島市国土強靱化地域計画案について

[事務局から計画案について、前回の市民会議からの提言・意見及び各部局からの修正・見直し等による変更点の説明、施策番号の振り直し、国・県・関係機関の重要業績指標の追加・修正、国の交付金要素事業に係る施策一覧表の追加、施策の重点化プログラムの見直し等の説明]

(議長)

事務局から前回からの変更点を中心に説明があったが、何か意見・質問は。

(議長)

45ページの施策 No20（徳島県企業BCP認定制度における市内企業者の認定数）について、こういう指標を扱う場合、どのように考えているのか。

(事務局)

BCPについては、市としても設けており、民間の事業者にも何らかの形で促す必要がある。

(議長)

現状として徳島市と県が連携してBCPを推進していることをあまり知らない。「他の該当プログラム：8-7（速やかな復興に資する業務継続計画等の欠如による地域経済への甚大な影響）」はそういうものが一部含まれていると思われるが、その見方がわからなかった。

(委員)

重要業績指標の目標値の意味を書いた方がいいのではないか。例えば、44ページの施策 No18（避難行動要支援者の個別計画作成者数）の目標値の2,000人という数字がどういう意味なのか。数字が漠然としている。数値目標が現在までの経年変化に乗ると達成できる数値目標なのか、何らかのインプットによって、少し現在の流れに対して修正が加わるというのが前提になっていると思うが、数字の意味を具体的にした方がわかりやすい。

(事務局)

目標値が何を示しているのかわかりにくいという御指摘だが、それぞれの担当部署に目標数値の依頼をかけたが、確かにどの辺りが正常な伸びの部分なのか、努力の結果なのか反映できていないと感じている。来年度以降の課題ということで、国から「国土強靱化地域計画を策定した後は、アクションプラン

という年次計画を作りなさい」と言われている。目標値の在り方や強靱化の達成度の評価に値する項目かどうか掘り下げが不十分である。来年度においては、リスクシナリオの検討と脆弱性の評価を再検討した上で、年次計画を策定する体制作りにかかりたい。目標値の在り方については、年次計画を立てる際に掘り下げて、毎年目標値を設定する中に入れていきたい。

(委員)

アクションプランは目標値を達成するための具体的な手法を具体的に書くものである。目標値を出している以上は、目標値の意味があるはずなので、意味を書いていた方がよい。人数の数字は、人口自体がこれから減っていくので、数字の意味が変わってくる。根拠は出しておいた方がよいのではないか。その上で、2,000人を達成するにはどうしたらいいかは次の話になる。担当課になぜその数字なのかの根拠を挙げてもらった方がよい。

(議長)

目標値の設定は難しい。アクションプランを考える中で検討してほしい。

(議長)

医療関係はどうか。

(委員)

計画が抽象的なのは仕方ない。目標値を具体的には出しにくいところがあると思う。

(委員)

弊社もBCPを更新していく中で、県や市の情報を取り入れたい。

(議長)

確か高速道路の避難場所を提供していただいている。

(委員)

誤植と思うが、69ページに、「国及び県と連携し」が2回出てくるので修正してほしい。

(委員)

市が防災の前に強靱化計画を策定しているのはすごい。これまで強靱化は聞いたことがなく、これを考えているのはすごいと思う。

(議長)

地域計画に評価をいただいた。

(委員)

補足資料1を見ると徳島市の重点化がよくわかる。私どもも協力できることはしたい。

(議長)

今回、重点化プログラムの選定方法が明確化された。選定手順は整理されている。

(委員)

手続きは明確になったが、県の重点化プログラムとずれがいくつかあって、5-5の「食料等の安定供給の停滞」と、6-1の「電力供給ネットワーク・・・等の長期間にわたる機能の停止」は、県は重点化にしているが、市は重点化から落としていいのかと思う。単純集計でドライに切れれば妥当なのか、県計画との連携をいうのであれば、もう一つフィルターをかけて救うのはどうか。

(事務局)

この手法で集計するにあたって内部では議論をした。どの部分を見るかによって県とずれが生じている。6-2の「上水道等の長期間にわたる供給停止」は県も市も重点化に該当しているが、6-3の「汚水・ごみ処理施設等の長期間にわたる機能停止」は市のみが重点化している。下水道やごみ処理施設は市が所

有・管理する施設だが、県は直接的に扱う機関がないので、このような差が現れている。市と県の立ち位置・守備範囲の違いが若干出ている。6-1の「電力供給ネットワーク・・・等の長期にわたる機能の停止」は、市もあと2点で重点化になる点数を付けている。点数を付ける際に検討した中で、災害が起こった直後をみるのか、あるいは復旧・復興の長い目線でみるのかで答えが変わってくる。5-5の「食料等の安定供給の停滞」は長い目線で見ないと復旧・復興しない項目であり、7-6の「農地・森林等の荒廃による被害の拡大」は年単位の時間を要する。今回はこの評価を進めて、次回、評価の手順や項目を見直して対応したい。

(議長)

私は災害の早期復興を考えているので、8-6の「事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態」は、点数が低いので驚いている。大規模な津波被害を受けると浸水エリアが広いので、このような用地確保はどうするのか。徳島市にとっては不安材料である。一番頭を悩ませているのは、災害後の住宅をどうするのか。認識の違いがあると感じている。中身の問題は今後議論が必要と考える。

(委員)

69ページの「土砂災害警戒区域の指定率」の説明の表現に間違いがある。

(事務局)

修正する。

(議長)

市民会議で計画案を協議するのは今日で最後なので、是非確認してほしい。委員の皆様から大きな変更の意見は無いようである。事務局から補足の説明はあるか。

(事務局)

今後のスケジュールについて報告する。2月13日に内部組織の策定会議に計画案を諮る予定である。その後、2月下旬に防災対策特別委員会、建設委員会及び令和2年第1回定例会（3月議会）に報告して最終的な計画となる。年度末または令和2年度当初に一般公開する方向でホームページ等に掲載していく。次年度の課題として、より地域の実情に応じた計画とするために、県の計画を参考にしたリスクシナリオ、脆弱性の評価の部分については、改めて検討していきたい。計画の推進体制及び進行管理については、具体的な年次計画を策定し、参考資料に添付している推進会議（仮称）及び推進市民会議（仮称）をもって今後この計画を進めていく体制で望みたい。

(議長)

今の報告に関して質問あるか。全体を通して意見・質問あるか。特に無いようなので、徳島市国土強靱化地域計画案について、承認でよろしいか。

(委員)

はい。

(議長)

ありがとうございます。本日の議事については以上で終了となる。委員の皆様には、会議の円滑な進行に御協力を賜りありがとうございました。第3回徳島市国土強靱化地域計画策定市民会議を終了する。

(事務局)

ありがとうございました。最後に土木部長より挨拶があります。

(土木部長)

委員各位におかれましては、何かとお忙しいところ、3回にわたりお集まりいただき、御審議誠にあり

がございました。本計画策定にあたりましては、当初予定よりも策定期間を大幅に前倒しした中、皆様からは専門分野、また、市民目線による貴重な御意見を頂戴することができ、計画案に反映することができたと考えております。今後は計画に沿った施策を推進していくとともに、内容をさらに精査していくこととしておりますが、皆様方には、引き続きそれぞれの見地から御協力いただければ幸いです。

最後になりますが、会議を主導していただきました中野会長、また佐野副会長におかれましては、限られた時間の中で、本計画を成案として取りまとめていただいたことにあらためてお礼を申し上げ、本会議の閉会に際しての挨拶とさせていただきます。

### 3 閉会

以 上